

第138回くらしの植物苑観察会 2010年9月25日(土)

江戸時代のバラ

御巫由紀(みかなぎ ゆき 千葉県立中央博物館 上席研究員)

江戸時代、バラは日本人にとってどんな存在だったのでしょうか？

「何種類か栽培されてはいたけれど、それほど人気のある植物ではなかった」というのが一般的な位置づけでしょうか？江戸時代の書物や絵画に見られるバラをご紹介します。江戸時代の人々がどのようにバラを見ていたか、想像してみたいと思います。今ほど情報が豊かではなかった時代ですから、バラの名前は統一されず、著者によって、また地方によって、さまざまです。今となっては正体不明のものも多くあります。今日は一緒に、バラの謎解きをお楽しみください。

1 正体がほぼ明らかなバラ

- (1) 玫瑰／徘徊花／はまなす
- (2) 月季花／長春／いばらぼたん／月月紅／白長春／白いばらぼたん／桜長春／猩々長春／そこ白長春／うけうばら／右京ばら／長春茨白布／斑入長春いばら
- (3) 金櫻子／ちやうせん荊／なにわばら／はとばら
- (4) 野薔薇／営実／錦茨／政吉いばら
- (5) 木香花／すだれいばら／錦棚兒
- (6) かかやんばら／白花縹絲花
- (7) 立山玫瑰／たかねばら

2 謎のバラ

- (1) らうぎ／山柵荊／縹糸花／をらんだいばら／ロウザイバラ／箱根荊
- (2) ごやばら／七姉妹／十姉妹／白ごやばら／白薔薇
- (3) さくらばら／金沙羅／かいどうばら／間々紅／ボサツイバラ
- (4) 牡丹荊／佛見笑／寶相花／八丈荊／紅八丈荊
- (5) 黄薔薇／わうごんばら
- (6) 五色薔薇
- (7) 茶靡／茶靡花／酴醾／こやおき／仏見笑／唐荊／トキンイバラ

.....

次回予告 第139回くらしの植物苑観察会 2010年10月23日(土)
「佐倉城址の秋の植物」 原 正利(千葉県立中央博物館)
13:30~15:30(予定) 苑内休憩所集合 申込不要

「大和本草」 貝原益軒 1709年（宝永6年）



次回予告 第139回暮らしの植物苑観察会 2010年10月23日（土）
「佐倉城址の秋の植物」 原 正利（千葉県立中央博物館）
13：30～15：30（予定） 苑内休憩所集合 申込不要